

# 令和6年度愛媛県県立高等学校入学者選抜実施要項

令和6年度愛媛県県立高等学校の入学者の選抜は、この要項に基づいて実施する。ただし、通信制の課程及び専攻科の入学者の選抜は、愛媛県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める要領により行う。

## 第1 募集

- 1 令和6年度愛媛県県立高等学校の第1学年の募集定員は、別に定める。
- 2 職業教育を主とする学科のうち、農業、工業、商業及び水産に関する各学科においては、それぞれに属する2以上の小学科について、くくり募集（2以上の学科について一括して募集することをいう。以下同じ。）ができる。

また、国際文理国際科及び国際文理理数科（以下「国際文理科」という。）については、くくり募集をする。

さらに、教育長が別に定める学科にあつては、普通科とのくくり募集ができる。

## 第2 通学区域

通学区域は、愛媛県県立高等学校の通学区域に関する規則（昭和38年愛媛県教育委員会規則第15号）の定めるところによる。

なお、教育長が別に定める学科にあつては、通学区域によらないことができる募集定員の割合をあらかじめ定めた上で全国の区域から志願者を募集すること（以下「全国募集」という。）ができる。

## 第3 一般入学者選抜

### 1 実施学科

令和6年度入学者の募集を行う全日制の課程及び定時制の課程の全ての学科について実施する。

### 2 募集人員

一般入学の募集人員は、全日制の課程にあつては当該学科の募集定員から当該学科の推薦入学確約者数を差し引いた数と、定時制の課程にあつては当該学科の募集定員とする。

なお、くくり募集をする学科にあつては、当該募集の単位をもって学科とみなす。

### 3 出願

#### (1) 出願資格

入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

ア 令和6年3月末日までに中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校（以下「中学校等」という。）を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者

イ 中学校等を卒業した者又は中等教育学校の前期課程を修了した者

ウ 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

#### (2) 出願期間

ア 出願期間は、令和6年2月15日（木）午前9時から同月21日（水）正午までとし、受付時間は、土曜日及び日曜日を除く日の午前9時から午後4時まで（同月21日（水）にあつては、午前9時から正午まで）とする。

なお、郵送等の場合も、同期間内に必着のこと。

イ 保護者の転勤に伴う県外からの出願については、志願変更期間（(5)に掲げる期間をいう。以下同じ。）中も出願することができる。

### (3) 出願制限

ア 入学志願者は、二つ以上の公立高等学校（他の都道府県の公立高等学校を含む。）又は課程に出願することはできない。

イ 入学志願者は、次の(ア)又は(イ)に該当する場合を除いては、二つ以上の学科に出願することはできない。

(ア) 同一学校における同一課程の農業、工業、商業又は水産に関する各学科のいずれかに属する二つの小学科を志望する場合で、当該小学科のうち一つの小学科を第2志望とするとき。この場合において、くくり募集をする小学科にあつては、当該募集の単位をもって一つの小学科とみなす。

(イ) 理数科又は国際文理科に出願する場合で、当該県立高等学校の普通科を第2志望とするとき。

### (4) 出願手続

ア 入学志願者は、入学願書に入学選考料（全日制の課程2,200円、定時制の課程950円）に相当する愛媛県収入証紙を貼付し、受検票を添え、在籍又は出身の中学校等又は中等教育学校の校長（以下「中学校長」という。）を経て（在籍及び出身の中学校等及び中等教育学校のない場合にあつては、直接）、志願先の高等学校の校長（以下「志願先高等学校長」という。）に提出しなければならない。

イ 県外からの出願手続は、次のとおりとする。

(ア) 県外からの入学志願者は、アにより提出する書類に愛媛県県立高等学校入学志願理由書（以下「入学志願理由書」という。）を添えて提出しなければならない。ただし、志願変更期間中における保護者の転勤に伴う県外からの出願については、入学志願理由書に代えて、保護者の転勤に伴う入学志願許可申請書を提出しなければならない。

(イ) 高等学校長は、入学志願理由書又は入学志願許可申請書の提出があつた場合は、志願の理由が適当と認められた者について、出願期間中（保護者の転勤に伴う志願変更期間中の出願にあつては、志願変更期間中）に、県外からの入学志願者受付承認願2部を教育長に提出し、承認を受けるものとする。

ウ 中学校長は、受検に当たって特別な措置が必要と判断される者が志願する場合には、令和6年1月12日（金）までに学力検査に関する特別措置願を志願先高等学校長に提出するものとする。

高等学校長は、特別措置願の提出があつた場合は、その写しを令和6年1月19日（金）までに教育長に提出し、協議するものとする。

エ 中学校等又は中等教育学校において年間30日以上長期欠席のある入学志願者は、本人の希望により、欠席の理由等を記載した自己申告書（厳封すること。）を入学願書に添え、志願先高等学校長に提出することができる。

オ 海外帰国生徒等（(ウ)に掲げる者をいう。以下同じ。）としての扱いを希望する場合の手続は、

次のとおりとする。

- (ア) 海外帰国生徒等としての扱いを希望する者は、中学校長を経て（在籍及び出身の中学校等及び中等教育学校のない場合にあつては、直接）、令和6年1月12日（金）までに海外帰国生徒等取扱措置願を志願先高等学校長に提出しなければならない。ただし、やむを得ない事情で、期限内に提出ができない場合は、その事情を記した事由書を添えて提出するものとする。
- (イ) 高等学校長は、海外帰国生徒等取扱措置願の提出があつた場合は、その写しを令和6年1月19日（金）までに教育長に提出し、当該者の海外現地校在学その他海外経験等の事情を勘案し、学力検査の実施等に関し講ずべき措置について協議するものとする。
- (ウ) 海外帰国生徒等とは、保護者とともに県内に住所を有する者又は入学日までに県内に住所を有する予定の者で、帰国後又は入国後の期間（帰国又は入国した日から令和6年2月14日までの期間をいう。）が5年以内であり、かつ、外国における在住期間が、帰国時又は入国時から遡り継続して1年以上であるものをいう。ただし、保護者が引き続き海外に居住する場合は、身元引受人を保護者とみなす。

#### (5) 志願変更

出願手続を終えた者で、学校、課程又は学科の志願変更を希望するものは、令和6年2月22日（木）午前9時から同月29日（木）正午までの間に、いずれの学校、いずれの課程、いずれの学科へでも1回に限り志願変更をすることができる。この場合において、定時制の課程から全日制の課程へ志願変更をするときは、入学選考料の不足額（1,250円）に相当する愛媛県収入証紙を添えなければならない。

志願変更の受付時間は、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く日の午前9時から午後4時まで（同月29日（木）にあつては、午前9時から正午まで）とする。

#### 4 報告書

- (1) 中学校長は、次の報告書を、令和6年2月22日（木）午前9時から同月29日（木）正午までの間に、志願先高等学校長に提出するものとする。
  - ア 調査書
  - イ 学習成績等一覧表
- (2) 中学校長は、やむを得ない事情で所定の報告書を提出できないときは、その事情を記した事由書及び当該報告書に代わる参考資料を提出するものとする。
- (3) 高等学校長は、報告書の内容について、必要があれば中学校長に説明を求めることができる。

#### 5 学力検査等

##### (1) 学力検査

入学志願者全員に対して、次により学力検査を行う。

##### ア 検査教科

##### (ア) 全日制の課程

国語、社会、数学、理科及び英語の5教科とする。

##### (イ) 定時制の課程

国語並びに社会、数学、理科及び英語のうちから入学志願者が選択する2教科の3教科とする。

#### イ 検査問題

令和6年度の愛媛県県立高等学校等の入学者等の選抜に係る学力検査の検査教科及び出題範囲並びに学力検査等の期日及び合格者の発表の日について（令和5年5月16日愛媛県教育委員会公告）1(1)イに定めるところによる。

#### (2) 実技テスト

今治工業高等学校繊維デザイン科及び松山南高等学校砥部分校デザイン科（以下「工業に関するデザイン科」という。）の入学志願者（当該学科を第2志望とする者を含む。（3）において同じ。）に対して、実技テストを行う。

実技テストは、基本的な題材を鉛筆で表現するものとし、内容については、当日指示する。

#### (3) 面接

ア 入学志願者全員に対して、面接を行う。

イ 工業に関するデザイン科の入学志願者の面接は、実技テスト終了後に行う。

#### (4) 期日及び日程

期 日	時 間	教 科 等
令和6年 3月7日(木)	9:00 ~ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45 ~ 10:30	国 語
	10:50 ~ 11:15	国 語(作文)
	11:35 ~ 12:25	理 科
	12:25 ~ 13:20	(昼 食)
	13:25 ~ 14:15	社 会
令和6年 3月8日(金)	9:00 ~ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45 ~ 10:35	数 学
	10:55 ~ 11:55	英 語
	11:55 ~ 12:55	(昼 食)
	13:05 ~	面 接 (工業に関するデザイン科にあつては、 実技テスト(30分)終了後に面接)

#### (5) 検査場

検査場は、志願先の高等学校（本校又は分校）とする。

### 6 入学者の選抜方法

(1) 高等学校長は、報告書、学力検査の成績並びに面接及び実技テストの結果を資料とし、当該高等学校、学科等の特色を踏まえて、その教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者を選抜する。

(2) 合格者の決定は、次の方法による。

#### ア 全日制の課程

(ア) 学力検査の成績は、各教科50点満点とし、合計250点満点とする。ただし、理数科及び総合学科については、傾斜配点を実施することができる。この場合において、理数科にあつては数学と理科の得点を、総合学科にあつては5教科の中で得点が高い2教科の得点を1.5倍して、それぞれ75点満点とし、検査を実施する5教科の合計を300点満点とする。

- (イ) 調査書点（調査書の各教科の学習の記録の第1学年から第3学年までにおいて履修した必修教科の評定の合計をいう。以下同じ。）は、135点満点とする。
- (ウ) 調査書の各教科の学習の記録以外の記録並びに面接及び実技テストの評価方法等については、高等学校長が定めるものとする。
- (エ) 次の第1選抜及び第2選抜の順に選抜し、合格者を決定する。ただし、入学志願者数が募集人員を下回っている場合は、a及びb中「募集人員」とあるのは、「入学志願者数」と読み替えるものとする。

a 第1選抜

調査書点が上位から募集人員の90パーセント程度以内にある者のうち、調査書の記録並びに面接及び実技テストの結果が良好な者を対象にして、学力検査の成績の上位順に募集人員の70パーセント程度の者を選抜する。この場合において、農業、工業、商業若しくは水産に関する各学科、理数科又は国際文理科にあつては、当該学科を第1志望とする者を対象とする。

b 第2選抜

第1選抜で選抜されなかった全ての者を対象に、学力検査の成績に基づく得点（以下「A」という。）、調査書点に基づく得点（以下「B」という。）、調査書の各教科の学習の記録以外の記録並びに面接及び実技テストの評価に基づく得点（以下「C」という。）を用いて、募集人員の30パーセント程度の者を選抜する。この場合において、農業、工業、商業若しくは水産に関する各学科、理数科又は国際文理科を置く高等学校における普通科の第2選抜については、当該学科を第2志望とする者も対象に含むものとする。

A、B及びCの合計は500点満点とする。また、A、B及びCの満点の比率は、Aは3から6までの、B及びCは2から4までの範囲の整数とし、A、B及びCの満点の比率の合計が10となるように高等学校長が当該高等学校の学科ごとに定め、事前に公表する。

なお、学力検査の成績、調査書の記録又は面接若しくは実技テストの結果のいずれかにより成業の見込みがないと判断した場合には、合格者とししない。

おつて、具体的な得点の算出方法は次の表のとおり。

【普通科及びその他普通教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科（以下「その他普通科」という。）並びに専門学科（理数科を除く。）】

【理数科及び総合学科】

満点の比率			得点を算出するときに乗じる数		A、B、Cのそれぞれの満点		
A	B	C	A	B	A	B	C
6	2	2			300	100	100
5	3	2			250	150	100
5	2	3			250	100	150
4	4	2	$\frac{50x}{250}$	$\frac{50y}{135}$	200	200	100
4	3	3			200	150	150
4	2	4			200	100	200
3	4	3			150	200	150
3	3	4			150	150	200

満点の比率			得点を算出するときに乗じる数		A、B、Cのそれぞれの満点		
A	B	C	A	B	A	B	C
6	2	2			300	100	100
5	3	2			250	150	100
5	2	3			250	100	150
4	4	2	$\frac{50x}{300}$	$\frac{50y}{135}$	200	200	100
4	3	3			200	150	150
4	2	4			200	100	200
3	4	3			150	200	150
3	3	4			150	150	200

注1 Aの満点の比率をxと、Bの満点の比率をyとする。

2 学力検査の成績に $\frac{50x}{250}$ 又は $\frac{50x}{300}$ を乗じてAを、調査書点に $\frac{50y}{135}$ を乗じてBを算出するときは、分子を乗じた後に分母で除すること（小数点以下の端数が生じる場合は、切り上げるものとする。）。

<普通科の算出例>

普通科でA、B、Cの満点の比率をそれぞれ6、2、2とした場合

$$A = \text{学力検査の成績} \times \frac{300}{250} \quad (300\text{点満点})$$

$$B = \text{調査書点} \times \frac{100}{135} \quad (100\text{点満点})$$

$$C = \text{調査書の各教科の学習の記録以外の記録並びに面接及び実技テストの評価の得点を換算} \quad (100\text{点満点})$$

イ 定時制の課程

(ア) 学力検査の成績は、検査を実施する3教科とも50点満点とし、合計150点満点とする。

(イ) 調査書点は、135点満点とする。

(ウ) 合格者の決定方法は、全日制の課程に準ずる。ただし、高等学校長の判断により、第1選抜を行わず、第2選抜の方法のみによって全ての合格者を決定することができる。

また、第2選抜のA、B及びCの満点の比率及び得点については全日制の課程に準ずるものとし、高等学校長が当該高等学校の学科ごとに定め、事前に公表する。

第2選抜における具体的な得点の算出方法は、次の表のとおり。

満点の比率			得点を算出するときに乗じる数		A、B、Cのそれぞれの満点		
A	B	C	A	B	A	B	C
6	2	2			300	100	100
5	3	2			250	150	100
5	2	3			250	100	150
4	4	2	$\frac{50x}{150}$	$\frac{50y}{135}$	200	200	100
4	3	3			200	150	150
4	2	4			200	100	200
3	4	3			150	200	150
3	3	4			150	150	200

注1 Aの満点の比率をxと、Bの満点の比率をyとする。

2 学力検査の成績に $\frac{50x}{150}$ を乗じてAを、調査書点に $\frac{50y}{135}$ を乗じてBを算出するときは、

分子を乗じた後に分母で除すること（小数点以下の端数が生じる場合は、切り上げるものとする。）。

(3) 通学区域外からの入学志願者については、愛媛県県立高等学校の通学区域に関する規則の規定に従って選抜する。

(4) 海外帰国生徒等の入学志願者で、第3の3(4)オ(イ)の協議において措置を講ずる必要があると認められたものについては、(1)及び(2)にかかわらず、高等学校長は、当該協議に基づ

き、当該高等学校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者を選抜する。  
この場合において、当該高等学校の第1学年の学級数を限度として、募集定員を超えることができるものとする。

- (5) 入学志願者から提出された自己申告書については、記載された内容によって不利が生ずることのないよう、選抜に際して入学志願者を理解するための補助資料として扱うものとする。

## 7 合格者の発表

合格者の発表は、令和6年3月18日（月）午前10時に、当該高等学校において、受検番号を掲示して行う。

## 8 学力検査の得点等の郵送又は口頭による開示請求

- (1) 学力検査の得点等については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）第69条第2項第1号の規定に基づき、郵送又は口頭により開示請求をすることができる。

- (2) 郵送又は口頭による開示請求をすることができる期間は、令和6年3月18日（月）から1週間とする。

なお、郵送による開示請求をするときは、当該期間の消印があれば期間内に開示請求があったものとみなすこととする。

- (3) 郵送による開示請求は、試験等成績開示請求書に必要事項を記入の上、入学志願者本人が本人であることを確認できる顔写真付きの書類（受検票等）の写し及び返信用封筒（宛先を明記し簡易書留郵便料金相当分の切手を貼付したもの）を同封し、志願先の高等学校に郵送することにより行うこと。

- (4) 口頭による開示請求は、入学志願者本人が本人であることを確認できる顔写真付きの書類（受検票等）を持参の上、土曜日、日曜日及び休日を除く日の午前9時（令和6年3月18日（月）にあつては、午前10時）から午後5時（夜間定時制課程にあつては、午後9時）までの間に、志願先の高等学校で行うこと。

- (5) 開示内容については、次のとおりとする。

調査書点並びに学力検査の教科別得点及びその合計得点

## 第4 推薦入学者選抜

### 1 実施学科

令和6年度入学者の募集を行う全日制の課程の全ての学科について実施する。

### 2 募集人員

- (1) 推薦入学の募集人員は、普通科、その他普通科、理数科、国際文理科及び普通科とのくくり募集をする学科にあつては当該学科の募集定員の5パーセントから15パーセントまで程度の範囲内で、職業教育を主とする学科（普通科とのくくり募集をする学科を除く。）及び総合学科にあつては当該学科の募集定員の20パーセントから30パーセントまで程度の範囲内で、高等学校長が当該高等学校の学科ごとに定め、事前に公表する。

なお、くくり募集をする学科にあつては、当該募集の単位をもって学科とみなす。

- (2) 全国募集を実施する学科にあつては、(1)の募集人員とは別枠として、県外の中学校等を卒業する見込みの者又は県外の中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者を対象に推薦入学者

を募集すること（以下「県外推薦入学者募集」という。）ができる。

### 3 出願

#### (1) 出願資格

ア 推薦入学を志願できる者は、令和6年3月末日までに県内の中学校等を卒業する見込みの者又は県内の中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者（県外推薦入学者募集にあつては、県外の中学校等を卒業する見込みの者又は県外中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者）であつて、次の要件の全てに該当し、かつ、在籍の中学校等又は中等教育学校の校長（以下「在籍中学校長」という。）が推薦するものとする。

(ア) 当該高等学校・学科を志望する動機や理由が明白で適切であること。

(イ) 当該高等学校・学科に適性及び興味・関心を有すること。

(ウ) 人物が優れていること。

(エ) 調査書の記録が良好であり、当該高等学校・学科における学習活動に成果が期待できること。

(オ) 次の要件のいずれかに該当すること。

a 特別活動において優れた実績を有すること。

b 校内外のスポーツ活動、文化活動、奉仕活動等のうち、いずれかの分野において、熱心な活動が見られること又は優れた成果を上げていること。

c 理数科、国際文理科又は職業教育を主とする学科（普通科とのくくり募集をする学科を除く。）を志願する者にあつては、調査書の各教科の学習の記録のうち、それぞれの学科に関連した教科において秀でていること。

イ 出願資格の詳細については、高等学校長が、当該高等学校の教育目標、学科の特色、地域性等を十分考慮して定めるものとする。

#### (2) 出願期間

出願期間は、令和6年1月22日（月）午前9時から同月29日（月）正午までとし、受付時間は、土曜日及び日曜日を除く日の午前9時から午後4時まで（同月29日（月）にあつては、午前9時から正午まで）とする。

なお、郵送等の場合も、同期間内に必着のこと。

#### (3) 出願制限

推薦入学志願者は、二つ以上の公立高等学校（他の都道府県の公立高等学校を含む。）又は学科に出願することはできない。ただし、くくり募集をする学科にあつては、当該募集の単位をもって学科とみなす。

#### (4) 出願手続

ア 在籍中学校長は、推薦に当たっては、在籍中学校長を委員長とする推薦委員会を設け、適切な推薦入学志願者を決定するものとする。

イ 在籍する中学校等又は中等教育学校において推薦入学志願者として認められた者は、推薦入学願書に入学選考料（2,200円）に相当する愛媛県収入証紙を貼付し、推薦入学受検票及び自己アピール書とともに、在籍中学校長に提出しなければならない。

ウ 在籍中学校長は、推薦入学願書、推薦入学受検票及び自己アピール書を報告書とともに、



出願期間内に志願先高等学校長に提出するものとする。

エ 県外推薦入学者募集の出願手続は、次のとおりとする。

(ア) 県外推薦入学者募集の志願者は、イにより提出する書類に入学志願理由書を添えて提出しなければならない。

(イ) 高等学校長は、入学志願理由書の提出があった場合は、志願の理由が適当と認められた者について、出願期間中に、県外からの入学志願者受付承認願2部を教育長に提出し、承認を受けるものとする。

#### 4 報告書

在籍中学校長から志願先高等学校長に提出する報告書は次のとおりとする。

(1) 調査書

(2) 推薦書

#### 5 作文、小論文、面接、集団討論等

(1) 作文、小論文、面接及び集団討論

推薦入学志願者全員に対して、作文及び小論文のうちから少なくとも一つ並びに面接及び集団討論のうちから少なくとも一つの合わせて二つ以上を行う。

なお、作文、小論文、面接及び集団討論の選定その他実施内容は、高等学校長が当該高等学校の学科ごとに定め、事前に公表する。

(2) 実技テスト

工業に関するデザイン科の推薦入学志願者に対して、実技テストを行う。

実技テストは、基本的な題材を鉛筆で表現するものとし、内容については、当日指示する。

(3) 学力検査

学力検査は、行わない。

(4) 期日及び日程

期 日	時 間	作文・小論文、面接・集団討論 等
令和6年 2月8日(木)	9:00～	点呼・受検上の注意
	点呼・受検上の注意終了後	作文・小論文
	作文・小論文 終了後	面接・集団討論 (工業に関するデザイン科にあっては、実技 テスト(30分)終了後に面接・集団討論)

(5) 検査場

検査場は、志願先の高等学校(本校又は分校)とする。

#### 6 推薦入学者の選抜方法

高等学校長は、自己アピール書、報告書並びに作文、小論文、面接、集団討論及び実技テストの結果を資料とし、当該高等学校、学科等の特色を踏まえて総合的に判定し、推薦入学者を選抜する。

#### 7 合格内定者の通知

(1) 高等学校長は、令和6年2月14日(水)午前10時から同月15日(木)正午までの間に、在籍中学校長に選抜の結果を推薦入学者選抜結果通知書により通知するとともに、合格内定通知書を交付する。

- (2) 在籍中学校長は、合格内定者に合格内定通知書及び入学確約書の用紙を交付するものとする。
- (3) 合格内定通知書の交付を受けた者は、在籍中学校長を通じ、入学確約書を令和6年2月20日（火）正午までに志願先高等学校長に提出しなければならない。

**8 合格者の発表**

合格者の発表は、令和6年3月18日（月）午前10時に、当該高等学校において、受検番号を掲示して行う。

**第5 定時制の課程の第2次募集**

**1 実施学科**

令和6年3月7日（木）及び8日（金）に実施した一般入学者選抜（以下「第1次募集」という。）における合格者数が募集定員に満たない定時制の課程の学科について、第2次募集を行うものとする。

**2 募集人員**

募集定員から第1次募集における合格者数を差し引いた数を第2次募集の募集人員とし、令和6年3月18日（月）午前10時に、当該高等学校に掲示する。

**3 出願**

**(1) 出願資格**

第3の3（1）に定める出願資格を有する者とする。

**(2) 出願期間**

出願期間は、令和6年3月19日（火）午前9時から同月25日（月）正午までとし、受付時間は、土曜日、日曜日及び休日を除く日の午前9時から午後4時まで（同月25日（月）にあつては、午前9時から正午まで）とする。

なお、郵送等の場合も、同期間内に必着のこと。

**(3) 出願制限及び出願手続**

第1次募集の場合に準ずる。

**(4) 志願変更**

志願変更は、できないものとする。

**4 報告書**

第1次募集の場合に準ずる。ただし、提出期間は、令和6年3月19日（火）午前9時から同月25日（月）正午までとし、学習成績等一覧表は、提出を要しない。

**5 学力検査等**

第1次募集の場合に準ずる。ただし、学力検査及び面接の実施期日及び日程は、次による。

期 日	時 間	教 科 等
令和6年 3月28日(木)	9:30 ~ 10:00	点呼・受検上の注意
	10:15 ~ 10:45	国 語
	11:00 ~ 12:00	社会・数学・理科・英語 のうち2教科を選択受検
	12:00 ~ 13:00	(昼 食)
	13:10 ~	面 接

## 6 入学者の選抜方法

第1次募集の場合に準ずる。

## 7 合格者の発表

合格者の発表は、令和6年3月29日（金）午前10時に、当該高等学校において、受検番号を掲示して行う。

## 8 学力検査の得点等の郵送又は口頭による開示請求

第1次募集の場合に準ずる。ただし、郵送又は口頭による開示請求をすることができる期間は、令和6年3月29日（金）から1月間とする。

## 第6 その他

- 1 既に納付した入学選考料は、一切返還しない。
- 2 出願に関して、虚偽又は不正の事実が判明した場合は、高等学校長は、当該生徒の合格又は入学許可を取り消すものとする。
- 3 この要項に定めるもののほか、入学者選抜に関し必要な事項は、教育長が定める。